

令和5年度(2023年度) 熊本日の出保育園の自己評価結果

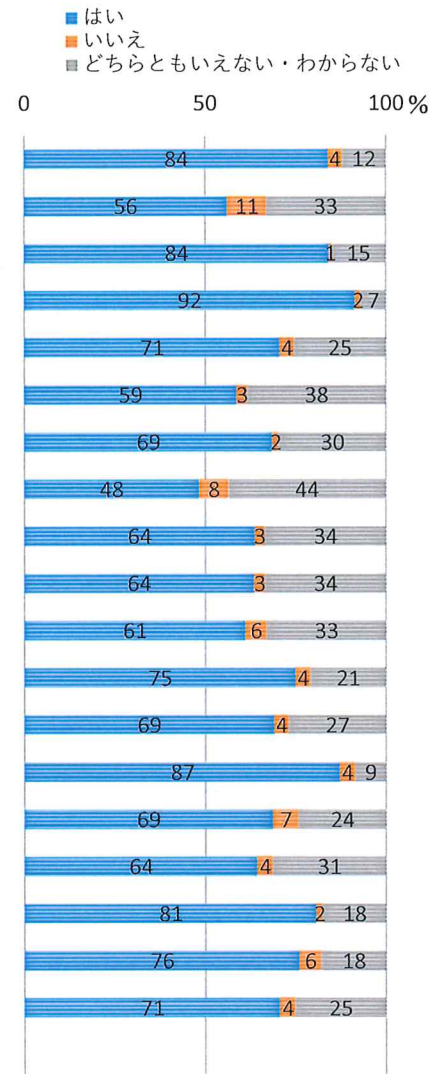
保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と明記されています。このことに基づき、熊本日の出保育園では毎年自己評価を実施していきます。また、自己評価の結果を踏まえ、今後もより良い保育を提供できるよう努力してまいります。

尚、自己評価チェックシートは別紙にて掲載しておりますので、ご参照下さい。

自己評価結果集計表

分野	回答	イ. はい		ロ. いいえ		ハ. どちらともいえない・わからない		
		回数	%	回数	%	回数	%	
1. 保育理念・保育観		84	%	4	%	12	%	
2. 保育の内容	(1) 保育計画・指導計画	56	%	11	%	33	%	
	(2) 乳児保育	84	%	1	%	15	%	
	(3) 3歳児未満保育(1・2歳児保育)	92	%	2	%	7	%	
	(4) 3歳児以上児保育	ア. 基礎的事項	71	%	4	%	25	%
		イ. 健康	59	%	3	%	38	%
		ウ. 人間関係	69	%	2	%	30	%
		エ. 環境	48	%	8	%	44	%
		オ. 言葉	64	%	3	%	34	%
	カ. 表現	64	%	3	%	34	%	
	(5) 特別な配慮や支援を必要とする子ども(障がい児)の保育	61	%	6	%	33	%	
(6) 行事	75	%	4	%	21	%		
(7) 延長保育	69	%	4	%	27	%		
3. 保健活動・安全管理		87	%	4	%	9	%	
4. 保護者・地域社会・関係機関との連携		69	%	7	%	24	%	
5. 地域の子育て支援		64	%	4	%	31	%	
6. 保育園の職務・役割分担		81	%	2	%	18	%	
7. 保育士としての資質向上(研修・研究活動)		76	%	6	%	18	%	
合計		71	%	4	%	25	%	

自己評価結果グラフ



【附則】

令和5年度(2023年度)の自己評価対象職員は20名です。
 上記、結果集計表並びに結果グラフは、職員20名の回答をそれぞれ合計し、分野別に平均(%)をだした結果となります。
 尚、職員20名の中で上記の項目に携わらない職員がいるため、どちらともいえない・わからない回答が多い項目があります。

【園全体の評価】

令和5年度の職員の自己評価にあたり、前年同様、主担任及び副担任にしか携わらない項目が多く、どちらともいえない・わからないのパーセントが多くみられる結果となった。また、年々特別な配慮や支援を必要とする子ども達が増えている中、職員配置に余裕がない為に、ゆとりをもって子ども達一人ひとりに関わることや時間に余裕をもって接していくことができない状態にあることも職員一人ひとりの評価からも見受けられた。前年度までは、コロナ禍であった為、保護者とのコミュニケーションをとることを控えていたが、今般、コロナ前に戻りつつある中で、保護者一人ひとりに寄り添った対応や雰囲気づくりを忘れかけているようにも見受けられる。今後は、園舎も新しくなり安心して保育ができる環境ができた為、今まで以上に子ども達や保護者に寄り添う時間を職員一人ひとりがもてるように、園としても対処する必要があると感じます。

【来年度の課題】

今後、より良い保育を目指して保育をしていくためには、園として職員配置を手厚くするなどの対応と、職員一人ひとりが保育の原点に立ち返り、保育の必要性を理解し、子ども達や保護者一人ひとりに寄り添った保育を目指し、保育者間の連携を密に図る必要性があり、園内研修や園外研修といった研修を、前年度同様もっと盛んに行うようにしていきたいと思います。

自己評価チェック内容 【イ：はい、ロ：いいえ、ハ：どちらともいえない・わからない】

1. 保育理念・保育観		記入欄		
1	あなたは、すべての子どもについて、一人ひとりの存在とその人権を尊重していますか。	イ	ロ	ハ
2	児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保証することが保育園の重要な使命だと理解していますか。	イ	ロ	ハ
3	あなたは、日頃から「保育所保育指針」をよく読み、その理念を理解したうえで、保育内容や保育方針を考えるときのガイドラインとしていますか。	イ	ロ	ハ
4	あなたの保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識していますか。	イ	ロ	ハ
5	あなたは、保育所保育は養護と教育が一体となって行われている、ということ意識して保育していますか。	イ	ロ	ハ
6	今日の保育園には、入園している子どもの保育だけではなく、広く地域の子育てを支援する社会的役割があることを認識していますか。	イ	ロ	ハ
7	あなたは、子どもに文化や生活習慣、考え方が多様であることを知らせ、それらを尊重する心を育てるよう努めていますか。	イ	ロ	ハ
8	子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定的な性別役割分業意識を植えつけることのないように配慮していますか。	イ	ロ	ハ
9	あなたは、日頃から子どもに身体的苦痛を与えたり、人格を辱めるなど精神的苦痛を与えることがないようにしていますか。	イ	ロ	ハ
10	あなたは、個人情報の保護に配慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしていますか。	イ	ロ	ハ
11	あなたは、「子ども・子育て応援プラン」に、若者の就労支援や男性の子育て参加等が盛り込まれていることを知っていますか。	イ	ロ	ハ
12	様々な特徴(障害)を持つ子も持たない子も、一人ひとりのありのままの姿を受け止め、地域のすべての子どもが健やかに成長することを願って保育をしていますか。	イ	ロ	ハ
13	育児の考え方について、保護者とあなたとが食い違っているとき、まず相手の気持ちを受け止め、話し合い、その保護者の立場や考え方を理解するよう努めていますか。	イ	ロ	ハ
14	子どもの家庭状況は多様だという考えの上で、今、その子に何が必要かを見極め、それぞれにとって適切な援助をしていますか。	イ	ロ	ハ
15	子どもが熱中しているときは、その時の保育の内容や流れに変更が生じて、危険のない限りその活動を見守るなどの柔軟性を持っていますか。	イ	ロ	ハ
16	あなたは、子どもと一緒に思いっきり体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、楽しんでいきますか。	イ	ロ	ハ

14	哺乳瓶の消毒、調乳、沐浴の仕方など基本的な事柄や、子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で確認し合っていますか。	イ	ロ	ハ
15	授乳について、その子が欲しがるときにやさしく抱いて微笑みかけ、ゆったりと飲ませていますか。	イ	ロ	ハ
16	離乳食は、家庭と連携を取りながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合うように工夫をしていますか。	イ	ロ	ハ
17	その子にとって初めての食品を食べさせた時には、皮膚や便性などに異状がないか観察していますか。	イ	ロ	ハ
18	おむつ交換時は「気持ちいいね」などやさしく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便性を把握して臀部を清拭していますか。	イ	ロ	ハ
19	赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、微笑みや要求に応じる言葉をやさしく返していますか。	イ	ロ	ハ
20	子どもを外気に触れさせたり、適度な戸外遊びをさせたりして、健康増進を図るようにしていますか。	イ	ロ	ハ
21	喃語には、ゆったりと応えたり、やさしく話しかけたりして、発語の意欲を育てていますか。	イ	ロ	ハ
22	絵本を見せながら、その子の指さすものに答えたり、やさしい言葉を添えたりして、あなた自らもそのやり取りを楽しむことができますか。	イ	ロ	ハ
23	あなたがどんな状態にあるときでも、赤ちゃんの笑顔やしぐさをかわいいと感じることができますか。	イ	ロ	ハ
24	あなたは、自分の服装の色合い、頭髪・爪などの清潔や、室内の清掃にも配慮していますか。	イ	ロ	ハ
25	寝返りができない乳児を寝かせる場合には、仰向けに寝かせるようにするとともに、睡眠中の姿勢、掛布団、呼吸等の確認をしていますか。	イ	ロ	ハ
26	一人ひとりの生活リズムや性欲、その日の体調等を把握した上で、睡眠の時間を調節したりする柔軟性を持ち合わせていますか。	イ	ロ	ハ
27	連絡ノートを活用するなどして、保育園以外での子どもの様子も把握するように努めていますか。	イ	ロ	ハ
合計 15 項目				

(3) 3歳児未満児 (1・2歳児保育)		記入欄		
28	大勢の子どもを保育するときでも、あなたを独占したがる子どもの気持ちも十分に満たすなど子どもの背景に配慮しながら、個別対応の努力や工夫ができていますか。	イ	ロ	ハ
29	「できない、やって!」と甘えてくるときは、その都度、その子の気持ちを受け止め、一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。	イ	ロ	ハ
30	あなたは子どもの「これな～に?」、「どうして?」などの繰り返しの質問に、忙しい時でもできるだけその都度応えようとしていますか。	イ	ロ	ハ

48	子ども一人ひとりの必要に応じて、心も体もゆったりとくつろげるための空間と時間を作り出す努力をしていますか。	イ	ロ	ハ
49	少しでも普段と違う具合の悪そうな子どもに気づいたら、自分から体の不調を訴えられるように、やさしく問いかけていますか。	イ	ロ	ハ
50	日常生活でのしぐさをよく観察して、行動や身体の異常などの早期発見につとめていますか。	イ	ロ	ハ
51	季節感を味わえる環境を整えたり、心地よい音楽を流すなど、和やかにくつろいで過ごせる室内の環境づくりを心がけていますか。	イ	ロ	ハ
合計 9 項目				

(4) 3歳以上児保育 (イ, 健康)		記入欄		
52	あなたは、「食育」の考え方を大切にし、食事を「楽しく・おいしく」味わえるように、テーブルの配置や飾りつけなどもくふうしていますか。	イ	ロ	ハ
53	あなたは、子どもが配膳の手伝いなど、食事に興味を持てるような機会を作るようにしていますか。	イ	ロ	ハ
54	「食育」の活動の一環として、調理をしているところを子どもに見せたり、栄養士や調理員の話しを聞かせたりして、子どもが食材や食事に関心を持つようにしていますか。	イ	ロ	ハ
55	給食のメニューやレシピ、食に関する情報を保護者に知らせるなど、発育期にある子どもの食事の大切さに関心を持ってもらう努力をしていますか。	イ	ロ	ハ
56	天気の具合や活動の内容・程度に応じて、衣服の着脱、調節を子ども自らが考えられるように言葉かけをしていますか。	イ	ロ	ハ
57	トイレに行くことをせかせせたり、強制したりせず、一人ひとりの排泄の欲求に合わせるようにしていますか。	イ	ロ	ハ
58	おもらしをしたり、排泄の後始末がうまくいなくても、さりげなく対応し、自分でできるように個別の指導がなされていますか。	イ	ロ	ハ
59	子ども達が快い疲労感を感じて昼寝に入れるよう、十分な遊びの場や時間を設けるようにしていますか。	イ	ロ	ハ
60	昼寝の時間以外でも、一人ひとりの状況に応じて、眠らせたり、身体を休ませるようにしていますか。	イ	ロ	ハ
61	清潔でいることは気持ちよいことと子どもが知るために、手洗い場、トイレなどをいつもきれいにしていますか。	イ	ロ	ハ
62	子どもが色々な楽しさを味わうため、散歩など戸外に出かける機会を積極的に多く取り入れていますか。	イ	ロ	ハ
63	子どもが外で十分に体を動かして遊びに興ずることができるように、日頃から園庭や固定遊具の整備をしていますか。	イ	ロ	ハ
合計 12 項目				

79	地域の公共施設やそこで働く人びとと子どもの生活とのかかわりについて、正しく伝えていきますか。	イ	ロ	ハ
80	子どもが自由に取り出して遊べるよう、遊具・用具などの構成を整え、その量や補充について工夫していますか。	イ	ロ	ハ
合計 8項目				

(4) 3歳以上児保育 (オ, 言葉)		記入欄		
81	言葉は、コミュニケーションや思考・行動のために不可欠なものであることを認識し、幼児期に言葉を豊かに身に付けられるように努力していますか。	イ	ロ	ハ
82	子ども達が、生活や遊びを通して、生きた言葉を多く自分のものと出来るように工夫していますか。	イ	ロ	ハ
83	日頃あなたは、声の大きさに気を付けて、わかりやすい、子どもへの心を込めたあたたかな言葉づかいでゆっくり話すようにしていますか。	イ	ロ	ハ
84	子どもが登園してきたとき、いつもさわやかに挨拶をし、その時々に必要な言葉をかけるようにしていますか。	イ	ロ	ハ
85	絵本や童話を読み聞かせるときは、文章の美しさや言葉のリズムの面白さに気を配り、その物語性や、伝統のすばらしさを伝えるようにしていますか。	イ	ロ	ハ
86	紙芝居や絵本の読み聞かせで、子どもが感動したり想像力を膨らませるように、あなた自身もその内容を楽しんでいきますか。	イ	ロ	ハ
87	子どもが話しかけてきたとき、その内容や結論がわかっているにもかかわらず、ゆっくり聞いて会話したい気持ちを満たし、言葉で伝えあう場をたいせつにしていますか。	イ	ロ	ハ
88	あなたは、子どもの目をやさしく見つめながら気持ちを合わせ、その子の言葉だけではなく、目の動き、顔の表情、体全体のしぐさにも注意を払っていますか。	イ	ロ	ハ
89	子どもと一緒に美しい花を目にしたときなど、あなたは「きれいね」だけでなく、もっと多様な言葉でその感動を表現していますか。	イ	ロ	ハ
90	あなたは、「早く～しなさい」、「だめ」、「いけません」などの指示・命令する言葉や禁止語をできるだけ使わないようにしていますか。	イ	ロ	ハ
91	子どもに言い聞かせるときには、問い詰めたり、押し付けたりせずに、子ども自ら考えるきっかけになるようなわかりやすい言葉づかいをしていますか。	イ	ロ	ハ
合計 11項目				

(4) 3歳以上児保育 (カ, 表現)		記入欄		
92	見たこと、感じたものに対して、言葉、絵、造形、からだ、音などその子が最も好きな、得意とする方法で表現することを大事にしていますか。	イ	ロ	ハ
93	あなたは、その子が感じたままを作品や動きなどで表現していることをくみ取ることが	イ	ロ	ハ

	る保護者の気持ちの援助に心がけていますか。			
111	就学に向けて相談する障害児の保護者に対して、保護者が自分で方向を決めていけるように相談に応じたり、情報提供をしたりしていますか。	イ	ロ	ハ
112	障がい児を受け入れる園の方針を、健常児の保護者に理解してもらえるように努力していますか。	イ	ロ	ハ
113	障がい児保育をより豊かなものにするために、子ども達にふさわしい環境・物的環境(遊具等)を整えるなどの努力をしていますか。	イ	ロ	ハ
合計 12 項目				

(6) 行事		記入欄		
114	あなたは、園が従来から続けてきた「行事」について、その意味について十分に考えてから、保育の中に組み込んでいますか。	イ	ロ	ハ
115	「行事」を保育に取り入れるときには、それが子どもの健やかな育ちにつながる意味をもつことを意識していますか。	イ	ロ	ハ
116	みんなで楽しむとともに、一人ひとりが十分に自分の力を発揮できるような「行事」となっていますか。	イ	ロ	ハ
117	あなたは、子ども達にとってその季節や時期にしか味わえない有意義な体験となるよう「行事」に工夫を凝らしていますか。	イ	ロ	ハ
118	子ども達が期待を持って「行事」に参加できるよう、年間計画の段階から子どもの主体性を尊重する保育場を用意していますか。	イ	ロ	ハ
119	「行事」に参加することを嫌がる子どもには、その気持ちを汲み取って、行事の中でその子が活動できる場を用意していますか。	イ	ロ	ハ
120	保護者が参加する「行事」の時には、保護者の評価にあまりとらわれず、日常の子どものありのままを見てもらう気持ちのゆとりを持っていますか。	イ	ロ	ハ
121	あなたは、「行事」が、子どもの生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心がけていますか。	イ	ロ	ハ
122	保護者や地域住民にも参加してもらうような「行事」については、園だよりや広報誌等で事前にその趣旨を説明し、理解や協力を要請していますか。	イ	ロ	ハ
123	子どもも保護者も期待感を持つ「行事」には、あなた自らも喜んで、余裕をもって参加できていますか。	イ	ロ	ハ
合計 10 項目				

(7) 延長保育		記入欄		
124	長時間にわたる保育を受ける子どもには、特に畳やカーペットで寝転ぶことができるようにするなど、家庭的雰囲気配慮していますか。	イ	ロ	ハ

14	不審者が侵入した場合に備えて、子どもの安全を確保するための対応策を日頃から心がけ、職員間で話し合っていますか。	イ	ロ	ハ
合計 14 項目				

4. 保護者・地域社会・関係機関との連携		記入欄		
1	園での様子を伝え家庭での様子を聞かなかで、子どもの育ちを保護者とともに、考え喜び合うことができますか。	イ	ロ	ハ
2	その日の子どもの健康状態や興味を持った遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか。	イ	ロ	ハ
3	保護者から突然、お迎えが遅くなるとの連絡があった時にも、快く対応するよう努めていますか。	イ	ロ	ハ
4	保護者が育児の悩みや心配事を話してみたくなり、一緒に考えてくれる存在であると思えるよう、あなたはこちらからすすんで触れ合うことを心がけていますか。	イ	ロ	ハ
5	たとえあなたの保育に批判的な保護者であっても、対立せずに受容し、意見や要求を聞く姿勢が持てますか。	イ	ロ	ハ
6	あなたは、保育に関する保護者の考えや提案を積極的に聞き、保育の流れの中で適切と思うものについては、園長等と話し合ったうえで受け入れるよう努めていますか。	イ	ロ	ハ
7	保育園が、保育参観だけでなく時には保護者に保育参加(保育に直接加わる)をしてもらう方針を決めた場合、協力できますか。	イ	ロ	ハ
8	あなたは、連絡帳を保護者がその内容をよく理解でき、楽しみにするような書き方をしていますか。	イ	ロ	ハ
9	保護者同士が相談相手になれるよう、お互いをよく知り合う機会を多く設ける努力をしていますか。	イ	ロ	ハ
10	地域の人たちによるボランティア活動などをどのように保育に組み入れたらよいか職員間で話し合うとともに、あなた自身もきちんとした見通しを持っていますか。	イ	ロ	ハ
11	老人会、町内会など地域組織と連携するとき、保育士としてどういう役割を担うべきか、考えたことはありますか。	イ	ロ	ハ
12	あなたは、保育園が地域の中学・高校の生徒との交流をしたり、実習生を受け入れるときに、めんどくがらずに指導することができますか。	イ	ロ	ハ
13	散歩や行事などで、子ども達が地域の人々と触れ合う機会を持つようにするとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか。	イ	ロ	ハ
14	地元の公共機関を利用するなど、地域の人々にかわいがられて、子ども達が豊富な社会体験を得られるようにしていますか。	イ	ロ	ハ
15	公園などの公共の場を使用した後は、あなたは子ども達と一緒に清掃するなど、気を配っていますか。	イ	ロ	ハ
16	あなたは言葉の通じない外国人に、尻込みしないで身ぶり手ぶりやIT 機器を利用して対応できますか。	イ	ロ	ハ

	員間の連携に努めていますか。			
9	あなたは、自分のクラスの教材や備品を、責任をもって毎日点検・管理していますか。	イ	ロ	ハ
10	あなたは、たとえ自分のクラスのものでなくても、教材・教具などの管理が不備であれば自らすすんで整えることができますか。	イ	ロ	ハ
11	あなたの本来の業務以外に保育園にかかわる仕事を頼まれたとき、それも職種の一端と考え、責任をもって引き受けていますか。	イ	ロ	ハ
合計 11 項目				

7. 保育士としての資質向上（研修・研究活動）		記入欄		
1	あなたは、保育士としての責務と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めていますか。	イ	ロ	ハ
2	あなたは、自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つけることができますか。	イ	ロ	ハ
3	自分の保育に対する同僚や上司からの批判や意見を、感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができますか。	イ	ロ	ハ
4	保育をする中で生じた疑問や悩みを、同僚や上司にわかるように説明することができますか。	イ	ロ	ハ
5	あなたは、その日の子ども一人ひとりの活動や姿を、しっかり記録に留めることができますか。	イ	ロ	ハ
6	あなたは、どのような子どもについても、一人ひとりの課題をみつけ、ケーススタディーをすることができますか。	イ	ロ	ハ
7	あなたは、保育の悩みや疑問を解決するために、研究・専門書を見つけ、そこから学ぶことができますか。	イ	ロ	ハ
8	あなたは、他のクラスの保育について、疑問や感想・意見を、お互いの向上のために、言葉に配慮しながら素直に述べるすることができますか。	イ	ロ	ハ
9	あなたは研修で得た内容・成果は、園の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立てていますか。	イ	ロ	ハ
10	あなたは、積極的に研究グループやサークルに参加して独自に勉強していますか。	イ	ロ	ハ
11	あなたは、研修会の機会があれば、自費でも参加したいと思いますか。	イ	ロ	ハ
12	あなたの保育実践について、園長をはじめ他の職員が把握できる保育日誌など記録を書いていますか。	イ	ロ	ハ
合計 12 項目				